

2022年度第2四半期

# 不二サッシグループ 決算説明資料

2022年11月8日

不二サッシ株式会社

---

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

# I. 2022年度 第2四半期決算の概要

# 2022年度における事業環境

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 予想
非木造建築物着工床面積(万㎡)	7,010	6,452	6,967	6,920
前年比(伸び率)	-6.7%	-8.0%	8.0%	-0.7%
新設住宅着工戸数(万戸)	88.4	81.2	86.6	85.1
前年比(伸び率)	-7.2%	-8.1%	6.7%	-1.7%

※実績は国土交通省 建築着工統計調査より

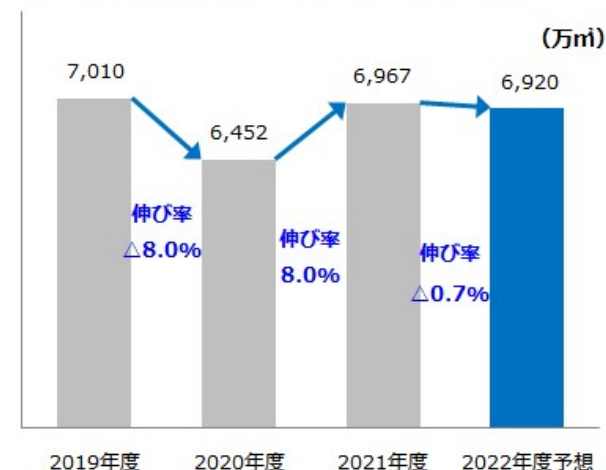
## ■ 非木造建築物着工床面積

2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少した需要が回復し、2022年度についてもその傾向は持続するとし、前年比横ばいを見込んでいます。

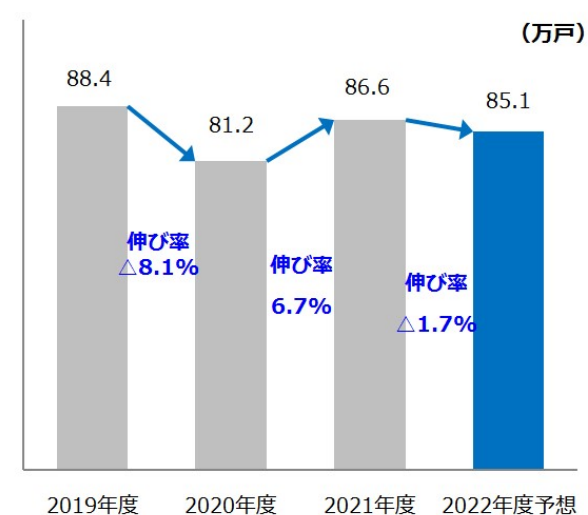
## ■ 新設住宅着工戸数

マンションを中心に増加傾向にあるが、持家が減少傾向にあり、2022年度については前年比微減を見込んでいます。

### 非木造建築物着工床面積(4-3月)



### 新設住宅着工戸数(4-3月)



# 2022年度 第2四半期決算の業績について



【連結】

(百万円)

	2021年度上期		2022年度上期			
	実績		実績		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	40,383		45,269		4,886	112.1
売上原価	34,989	86.6	39,991	88.3	5,002	114.3
売上総利益	5,394	13.4	5,277	11.7	△116	97.8
販管費	6,314	15.6	6,464	14.3	149	102.4
営業利益	-920	-2.3	-1,186	-2.6	△266	-
経常利益	-735	-1.8	-1,020	-2.3	△285	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,001	-2.5	-1,276	-2.8	△274	-

- 製造原価低減をはじめとした収益改善に取り組むもアルミ地金価格および諸資材価格高騰の影響を吸収できず赤字幅が拡大。

# セグメント別 売上高・営業利益

【連結】

(百万円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 上期実績	2022年度		2021年度 上期実績	2022年度	
		上期実績	対前年比		上期実績	対前年比
建 材 事 業	28,830	32,205	111.7% 3,374	-265	-569	- △ 304
形 材 外 販 事 業	9,070	10,711	118.1% 1,640	-296	-170	- 126
環 境 事 業	1,350	1,028	76.2% △ 321	146	58	40.1% △ 87
物 流 事 業	1,006	1,193	118.6% 187	153	151	99.1% △ 1
そ の 他 事 業	125	131	104.4% 5	61	75	123.3% 14
(消去又は全社)	-	-	-	(719)	(732)	-12
合 計	40,383	45,269	112.1% 4,886	-920	-1,186	- △ 266

(注)2022年3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」等を適用しております。

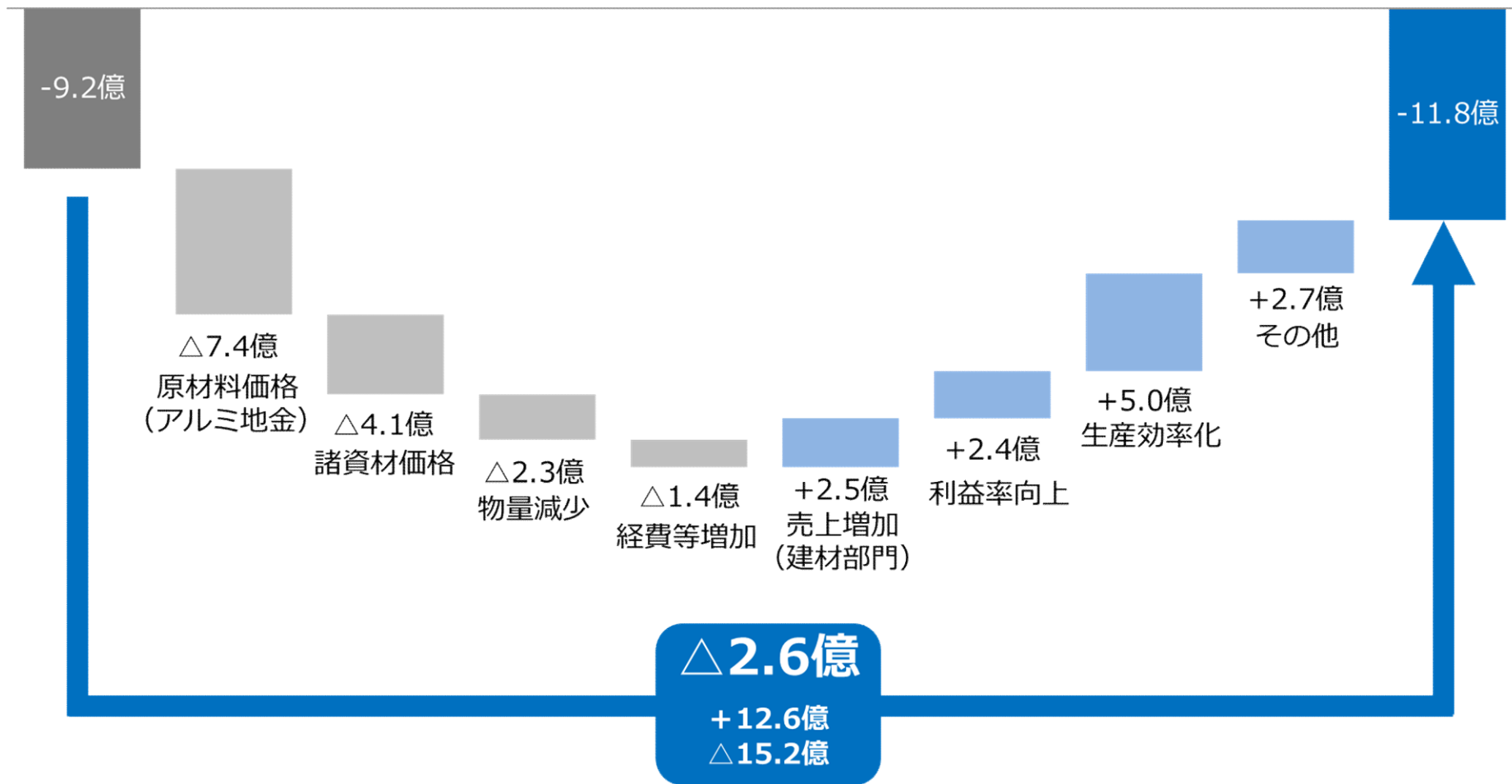
# 営業損益増減分析（前年比・要因別）

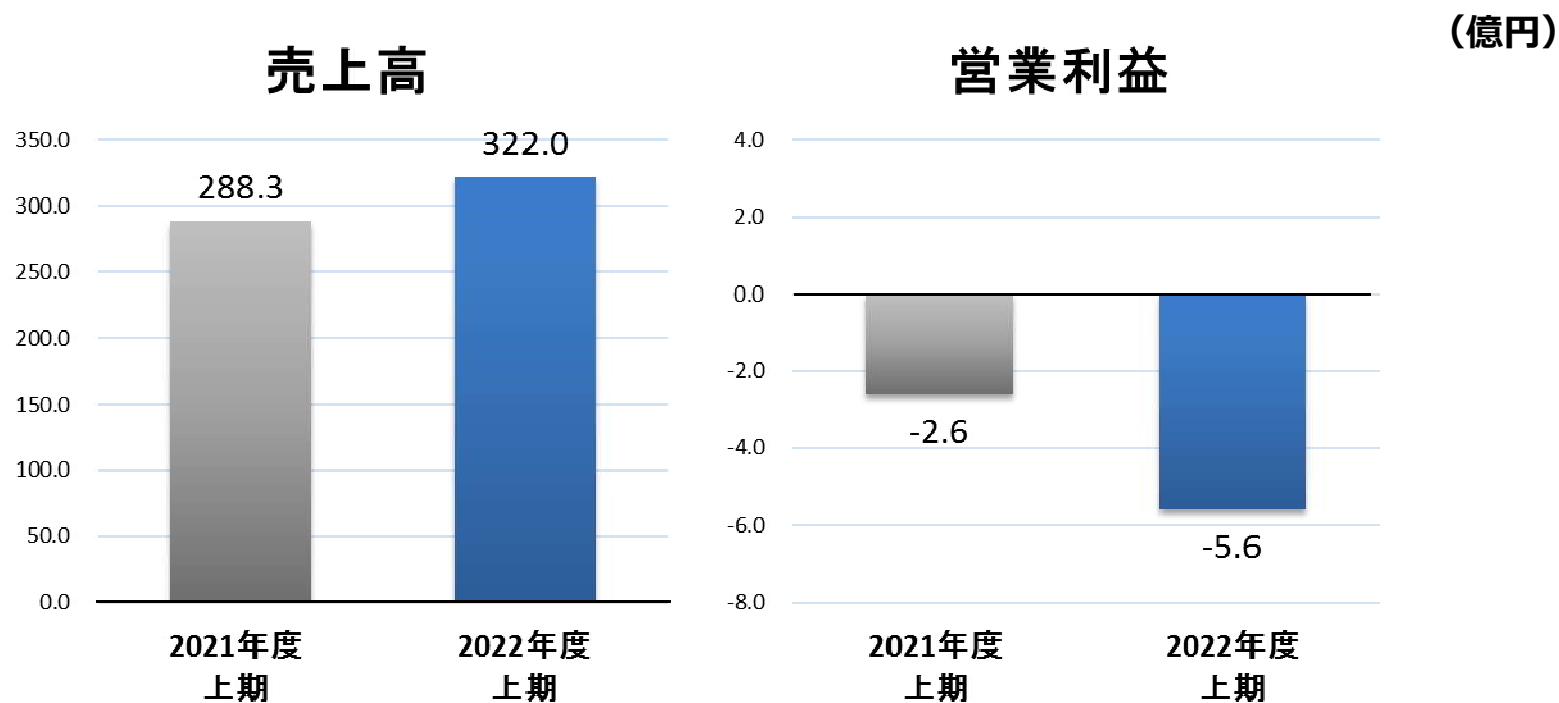
2021年度

上期

2022年度

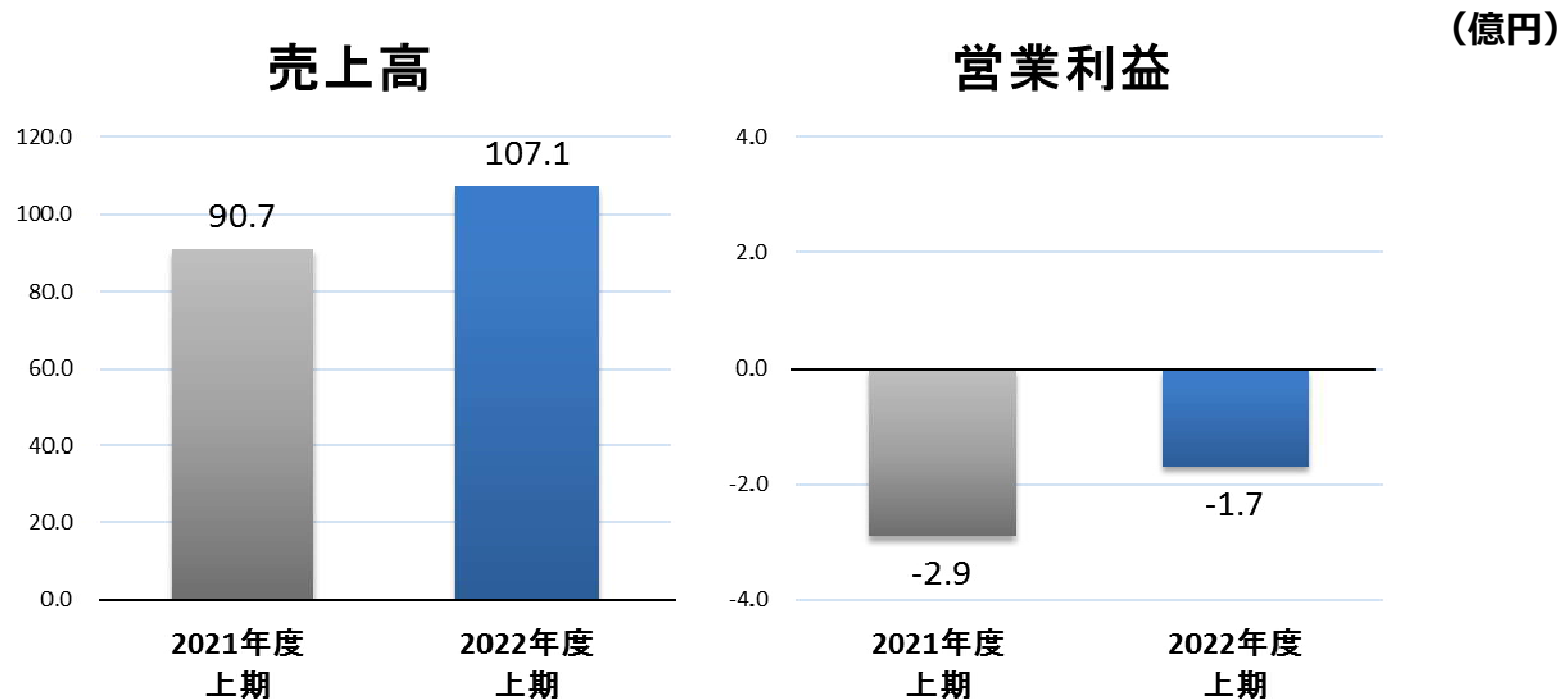
上期





## ■ 売上高・営業利益

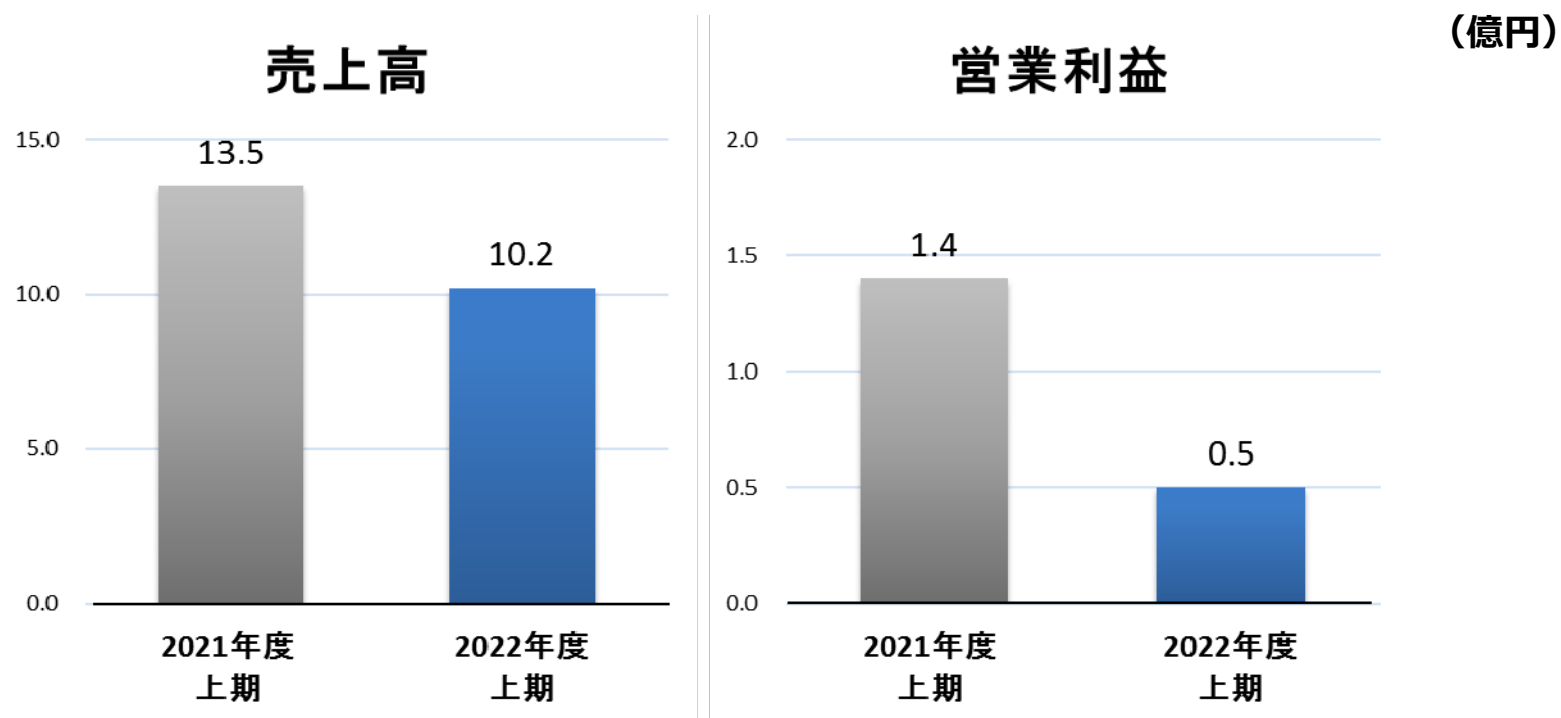
リニューアル事業は前期からの繰り越し工事の影響もあり好調であったが、ビル新築事業では大型物件を中心に受注は順調に推移したもののアルミ地金価格高騰の影響を吸収できず全体では増収減益。



## ■ 売上高・営業利益

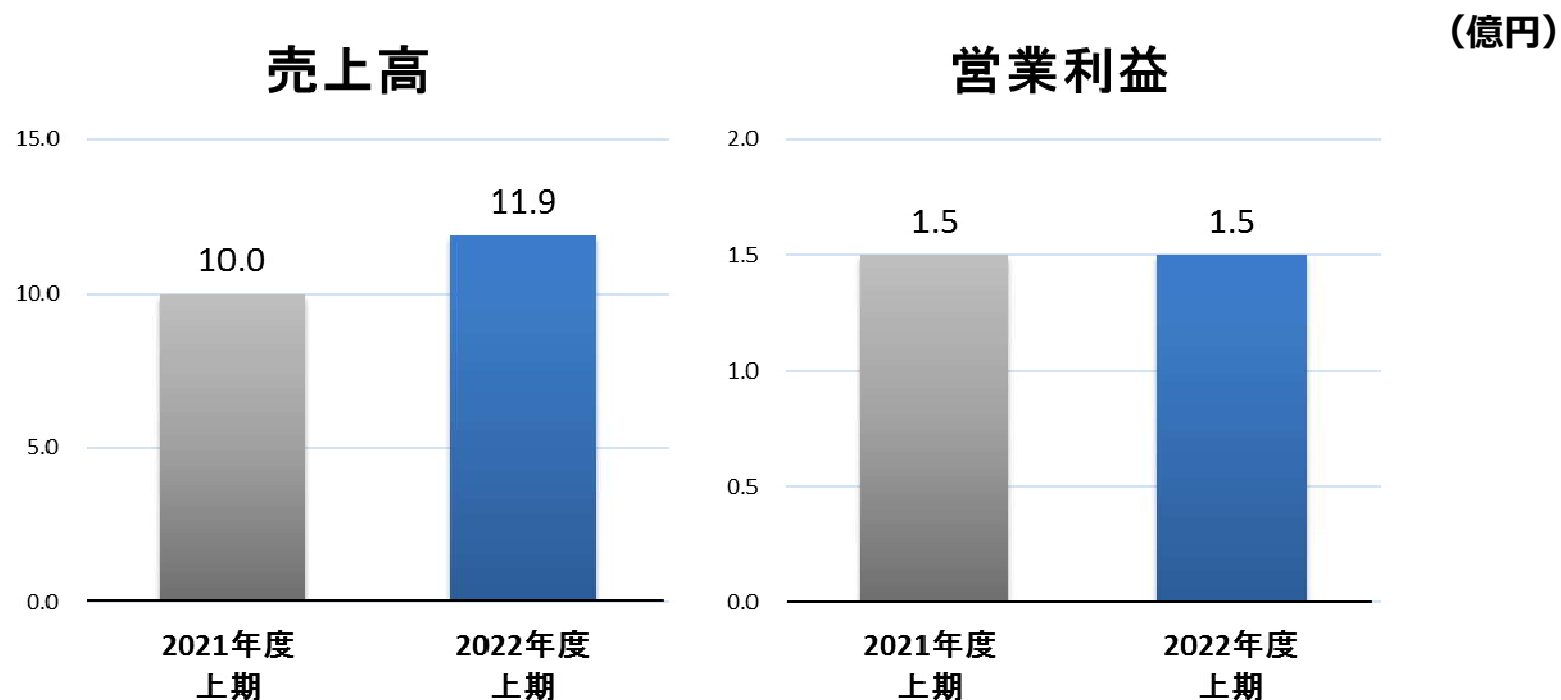
アルミ地金市況に連動する売上増加により増収。利益面では諸資材価格の高騰による影響に加え、生産体制の見直しや不採算取引の改善等が停滞し、当初計画より利益の上積みができなかった。





## ■ 売上高・営業利益

プラント部門では半導体や樹脂材料等の需給逼迫の他、その他部材の入手難による工期延期の影響を受け、薬剤部門では原材料価格の高騰影響による薬剤販売利益率の低下により減収減益。



## ■ 売上高・営業利益

コンテナ不足による海上輸送の混乱、原油価格の高騰による燃料費、油脂費、諸資材等のコスト負担増加の中大変厳しい事業環境下に置かれているが、営業倉庫の活用や輸出入業務ならびに大型案件のスポット受注もあり増収し、利益を確保。

# 連結貸借対照表要旨



(百万円)

		2022年 3月末	2022年 9月末	前期末比			2022年 3月末	2022年 9月末	前期末比	
流動資産計	現金及び預金	14,523	15,214	691	負債計	仕入債務	20,274	19,637	△ 636	
	売上債権	26,759	24,036	△ 2,722		短期借入金・社債	13,356	14,270	914	
	たな卸し資産	7,478	8,574	1,096		その他流動負債	5,353	5,833	479	
	貸倒引当金	-701	-746	△ 44		長期借入金・社債	9,111	9,437	326	
	その他	1,368	1,854	486		その他固定負債	17,154	17,186	32	
	流動資産計	49,426	48,933	△ 493		負債計	65,250	66,365	1,115	
	固定資産計	建物及び構築物	7,220	6,968		△ 252	株主資本	16,210	14,808	△ 1,402
		土地	13,328	13,331		3	その他の包括利益累計額	1,678	1,714	36
		その他有形固定資産	4,826	5,199		373	非支配株主持分	175	190	14
		投資有価証券	2,865	2,917		51	純資産計	18,065	16,713	△ 1,351
貸倒引当金		-877	-870	7	負債・純資産計	83,315	83,079	△ 236		
その他固定資産		6,524	6,598	74						
固定資産計	33,888	34,146	257							
資産計	83,315	83,079	△ 236							

# 財務状況

(百万円)

	2022年3月末	2022年9月末	前期末比
利益剰余金	13,694	12,292	△1,402
自己資本	17,889	16,523	△1,366
自己資本比率 (%)	21.5	19.9	△1.6
有利子負債	22,786	23,986	1,201
1株あたり純資産 (円)	141.7	130.9	△10.8

	2021年9月末	2022年9月末	前年同期比
税金等調整前四半期純損失	-904	-1,199	△295
営業活動によるキャッシュ・フロー	-917	673	1,590
投資活動によるキャッシュ・フロー	-774	-855	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,515	838	2,353
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,680	14,303	1,623

# 受注状況・設備投資他

受注高・受注残高の推移 (百万円)

	2021年度上期	2022年度上期	前年同期比
受注高	33,158	35,467	2,309
受注残高	63,622	69,035	5,412

設備投資及び減価償却費の推移 (百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度上期
設備投資額	2,356	2,946	2,224	1,688	1,410
研究開発費	1,677	1,732	1,505	1,303	618
減価償却費	2,215	2,206	2,293	2,203	949

従業員の推移 (人)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度上期
従業員数	3,002	3,078	3,055	2,970	2,937
増 減	+54	+76	△23	△85	△33

## Ⅱ. 2022年度の業績予想

# 2022年度 連結通期業績予想について

【連結】

(百万円)

	2021年度		2022年度			
	実績		予想		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	90,430		98,000		7,569	108.4
営業利益	885	1.0	760	0.8	△125	85.8
経常利益	1,101	1.2	660	0.7	△441	59.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	-3,326	-3.7	377	0.4	3,703	—

(注) 2022年度3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」等を適用しております。

## Ⅲ. 中期経営計画の取り組みについて (2022-2024年度)



# 再生素材(アルミリサイクル材)の積極的利用

## 限りある資源の有効活用

循環型社会の実現に向け、製品の開発、生産、使用、廃棄の各段階で「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」の重要性はさらに高まってきています。

不二サッシグループでは、限りある資源の有効活用に向けて様々な取り組みを行っており、その中でも、再生素材(アルミリサイクル材)を積極的に利用することは、新たなアルミニウム地金を製造する場合に比べて、必要なエネルギーは、わずか3%であり、CO<sub>2</sub>排出削減に大きく貢献しています。



アルミリサイクル材

## 再生素材(アルミリサイクル材)の積極的利用

今までも工場内や系列工場から発生する再生素材(アルミリサイクル材)を回収、再利用することで、環境負荷低減に取り組んでいましたが、工場内や系列工場からの回収にとどまらず、リサイクル材のさらなる活用を推進することで、リサイクル材比率を高めながら、今まで以上にCO<sub>2</sub>削減に貢献していきます。

また、リサイクル材を活用する際には、6000系以外の異種材料が混入しない様に、最新の注意を払い、品質の確保に努めています。

## 『不二サッシグループ人権方針』を策定

サステナブルな社会実現への貢献『選ばれる企業グループへ』を標榜する当社グループは、欧米を中心にした人権デューデリジェンス関連の法令化、2022年9月日本政府による『責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン』の公表に伴い、10月25日開催の取締役会において、当社グループの人権方針を策定致しました。

### 【不二サッシグループ人権方針】

#### ◆基本方針

不二サッシグループは、「経営理念」に基づき、人権の尊重をサステナブルな社会実現への課題の一つとして、すべての事業活動において、ひとり一人が、「あらゆるステークホルダーの人権が尊重されることが不可欠であること」を認識して行動し、『人権尊重の責任』を果たします。(以下略)

## SBT認定取得に向けた取り組み

コミットメントレターを提出し、認定取得の申請準備中

## ESG・SDGsへの貢献

不二ライトメタル(株)本社工場内に排ガス除去装置を設置

## 環境配慮商品の拡充

## 変革(DXの加速等)へ挑戦し、生産性向上・営業強化を図る

RFIDを使用して探すムダの削減を図る

## IV. トピックス

## 不二サッシに滋賀県より『感謝状』が贈られる

2022年8月26日

このたび滋賀県より、障害者の就労機会拡充への貢献をたたえ不二サッシに感謝状が贈られました。同じく障害者が働く施設から積極的に物品を購入した草津市の建設業「井上工業」にも感謝状が贈られ、8月26日に大津市内の県公館で開かれた贈呈式には、吉田社長が出席し、三日月知事より感謝状が手渡されました。



### 贈呈式にて

右から:三日月知事、吉田社長、井上工業 小久保社長、県健康医療福祉部 市川部長

滋賀県では、障害者の工賃向上や就労機会の拡充を目指して、2018年度から「しが障害者施設応援企業認定制度」を設けています。

これは前年度に県内の障害者就労施設などから購入した製品やサービスの総額に応じ、A級からE級の5段階で認定される制度で、不二サッシは、草津市内の障害者福祉サービス事業所（社会福祉法人メイプル）へのアルミサッシの発注により、開始年度第一号認定をはじめこれまでにA級を4度獲得しています。

## 2022年度グッドデザイン賞をW受賞

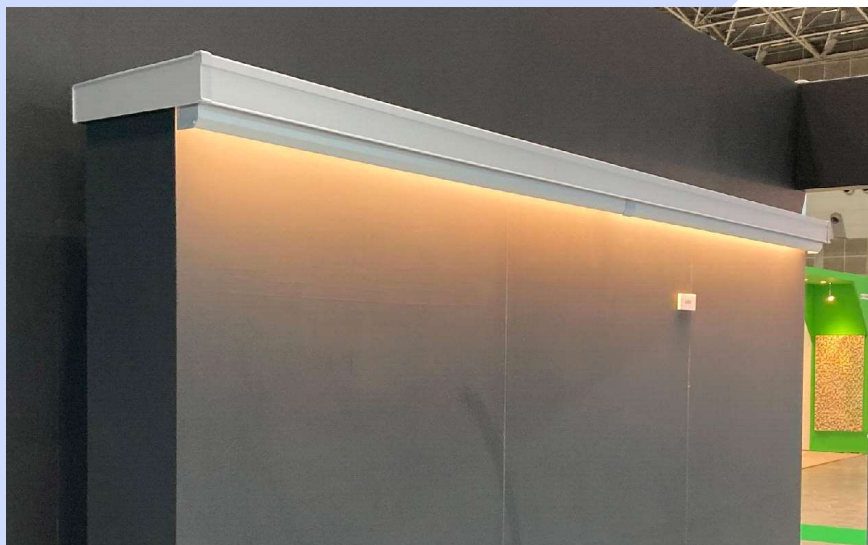
2022年10月11日

(公財)日本デザイン振興会が主催する「2022年度グッドデザイン賞」において「細見付自動ドア フェイシングフロント CF9」、「アルビームプラス LED照明内蔵笠木」の2商品がグッドデザイン賞を受賞いたしました。



- ◆ **細見付自動ドア フェイシングフロント CF9**  
上框とエンジンボックスを一体化させ、たて框見付寸法を業界初の9ミリとした細見付の自動ドアを開発しました。  
ガラス面を大きくすることで、建物内からは背景に溶け込み、外観からは建物との一体感を表現できます。





◆アルビームプラス LED照明内蔵笠木  
 サッシやカーテンウォールにLED照明を内蔵した「アルビームシリーズ」のサッシ外商品シリーズとして、ビニフレーム工業(株)、(株)遠藤照明の協力を得て「アルビームプラス LED照明内蔵笠木」を開発しました。

笠木に専用パーツでライン照明を下向きに内蔵することで、眩しさを感じさせず効果的に外壁を照らします。

▼設置前



▼設置後



※画像はイメージです。

窓から夢をひろげていきます  
**不二サッシ**

---